第1章 コミュニティ 第1節 地域コミュニティ

	早 1 1 1 1 1 1 1 1			経	B	成果					評価及び次年度以降に	両及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど	
所属 名称	事務事業名称	事業概要(全体)	会計	投入口	スト(千円)	活動実績 (H28)		成果	指標	総合評価	評価 理由	現状の課題	有益 有害 な な もの もの
	実施計画ランク	事業の種別		H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			H28年度に改善した点	
		■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加根拠法令 所沢市まちづくりセンター条例、所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域	_	1,050 H28予算現額 1,051	1,05 H28決算額(見込み)	付金交付対象事業数	地域づくり協議会活動文法父付金父付対家事 ***		松井まちづくり協議会の交付金対象事業数を基準として、住民参加・人と人との絆・支え合う地域づくりへの達成度を推し量るもの。		H26年7月の協議会発足から3年が経過し、これまで個々に地域課題に取り組んできた各組織が「オール松井」で取り組むことによって地域になっている。	これまで個別に行っていた部会とは別に、 同一場所・時間で実施する「5部会会議」 を実施し、地域課題に対する現状認識と	
松井 まち りセ		づくり協議会活動支援交付金交付要綱 事業の目的及び具体的な内容 自治会・町内会をはじめとした松井地区内の各団体	_	H27正規職員 人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 0.00	3	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析	A	目治会・町内会は会員制組織であ るが「自治会の加入有無にかか	事業達成に向けての現在の課題及	_ _ 有 無
ター		で構成する「松井まちづくり協議会」への交付金の交付 等を通して、地域住民自身が地域課題の発見とその解 決を行うことにより、住民参加と協働を促し、人と人と	, n.	16,021千円	付別 戦	①5,363人	H28年度目標	H28実績			を盛り上げていこう」とする郷土愛 を盛り上げていこう」とする郷土愛 隣人愛をベースとした仲間意識が 芽生えてきた。	び今後の課題解決に向けた取り組み これまで任意団体に過ぎなかった地域団 体は、協議会の発足によって公認組織と	
		の絆を大切にし、お互いに支え合う地域づくりを進めることを目的とする。その内容は、次のとおり ①地域づくり協議会活動への支援②自治会・町内会等		人件費	H28その他職員 従事割合 非常勤	②4事業	4	4	目標達成済			なった。今後、協議会を発展させていくた めには次の取り組みが必要。 ①地域課題の発見・解決のために部会を	
	期間 H23年度~	の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成 ④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供 ⑥地域防災⑦地域住民の要望等の処理・連絡調整			特別職 0.00 万	4	H29年度目標 4				評価者 松井まちづくりセンター長 森田喜良	活性化する。②既存組織との合理化を進め、役員負担を減らし、実践部隊を増やす。③協議会の運営ルールを確立する。	
	実施計画ランク	事業の種別		H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			H28年度に改善した点	
	 重要			0									
		根拠法令		H28予算現額	H28決算額(見込み)	①待合ソファー購入 ②	まちづくりセンターの充 品の整備	まを図るために必要な備	まちづくりセンターに必要な備品の整備を図り、 地域コミュニティの支援拠点として、まちづくりセンターの機能の充実を指標とする。		成果指標の目標値を達成してお	まちづくりセンターの機能の充実を図るた	
松井		所沢市まちづくりセンター条例・同条例施行規則		47	4	3					り、支援拠点として機能の充実が図られている。今後も地域コミュニ	め、待合ソファーの購入を行った。	
	松井まちづくりセン	事業の目的及び具体的な内容		人件費	H27その他職員 従事割合	00 人 実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析	A	ティの支援拠点として松井まちづく りセンターの体制を整備していく。		- # # #
りセ ター	ター整備事業		假	0.00 入	付 別 収							事業達成に向けての現在の課題及 び今後の課題解決に向けた取り組み	
		絆を紡ぐまちづくりに向け、地域コミュニティを支援する拠点としてのまちづくりセンターの充実を図るため、	`	で支援す	H28年度目標 1	H28実績 1	目標達成済			地域コミュニティを支援する拠点として、 民ニーズが増加している。今後もニーズ			
	期間	必要な備品の整備を行っていく。			非常勤 0.00 / 特別職	3	H29年度目標				評価者	に答えられるようまちづくりセンターとして の機能の充実を地域住民とともに進めて	
	 H28年度~			3,001 千円		_					松井まちづくりセンター長 森田喜良	- L'\C ₀	
	実施計画ランク	事業の種別		H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			H28年度に改善した点	
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 根拠法令 所沢市まちづくりセンター条例、	-	2,180 H28予算現額	2,21 H28決算額(見込み)	2 ①地域住民の参加人数(支援 事業の延べ参加人数)	地域づくり協議会活動	支援交付金交付対象事	「地域づくり協議会」の活動を支援することが目				
		根拠法令 所沢市まちづくりセンター条例、所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域づくり協議会活動支援交付金交付要綱		3,156		②地域づくり協議会活動支援交 付金交付対象事業数<交付金	₩ ж _т		的のため、交付金により活動できた事業数を指標とする。		り、谷部会活動の放果か争けられ	5部会での活動となったうち、1部会(地域 コミュニティ部会)が独自で部会活動を行 うことができた。	
富岡 まち づく	地域づくり支援事業	事業の目的及び具体的な内容	_	人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤	の交付対象となった事業数)	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析	Δ	ていると考える。	事業達成に向けての現在の課題及	 有
りセ ター		人と人との絆を大切にし、互いに支え合い助け合う地域づくりを推進するため、地域づくり協議会に対し、1年	般		特別職 0.00 万		3事業 H28年度目標	4事業 H28実績				び今後の課題解決に向けた取り組み	13 ///
		度当たり100万円を上限に、地域づくり協議会活動支援交付金を交付するとともに、次の取組を行う。 ①地域づくり協議会活動への支援②自治会・町内会等		H28正規職員	H28その他職員 従事割合	①12,105人	4事業	4事業	目標達成済			全ての部会で個別の活動ができるよう支	
	期間	の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成 ④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供 ⑥地域防災⑦地域住民の要望等の処理・連絡調整		204	非常勤 特別職 0.10 /	②4事業	H29年度目標				援していくとともに、各部会が 事業を展開していけるよう支持		
	H23年度~	少℃%//J火心地%II人V女王可以处任" 连附酮笠		17,493 千円	臨時職員 1.45 丿		5事業				富岡まちづくりセンター長 斉藤洋一		

所属 事務事業	# A X	★₩級(本人人人)		経費			成果		評価及び次年度以降に	こ向けた課題・取り組みなど		境 響	
所属 事務事第 名称	業名称	事業概要(全体)	会計	投入コスト(千円)	活動実績 (H28)		成界	4指標	総合評価	評価 理由	現状の課題	な	有害 な もの
実施計画ラ	先	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加根拠法令 所沢市まちづくりセンター条例、所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域		H27予算現額 H27決算額 1,021 1,080 H28予算現額 H28決算額(見込み)	項目名 ① ① 地域住民の参加人数 ② 地域づくり協議会活動支援	指標名 地域づくり協議会活動 業数]支援交付金交付対象事	目標設定の考え方・根拠 地域づくり協議会は、住民の参加と協働により 地域内の課題解決に向けた取り組みを行う組織 であり、その活動に対して交付金を交付してい る。この交付金を活用して行った活動は、会の		地域づくりを進める協議会の活動 を支援する本事業は、協議会の主	H28年度に改善した点 コミュニティ推進事業における、「活動実績」である「地域住民の参加人数」につい		
小手 指ま ちづ 地域づくり3 くりセ ン	支援事業	づくり協議会活動支援交付金交付要綱 事業の目的及び具体的な内容 人と人との絆を大切にし、互いに支え合い助け合う地	一般	1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,023 1,02	3 交付金交付対象事業数 ③ 実績	H27年度目標 3	H27実績 2	組織目標に沿った活動であると考えるため。 H28目標値が未達成の理由・分析	А	体的な活動を支援するため、これまでの課題に対する新しい取り組みを始めるには、理解と協力を得るのに時間がかかる。しかし、参解があり、今後においても安定的に協会を運営できるものと考える。	て、まちづくり協議会主催事業のみの参加人数として掲載し、わかりやすくした。	_ _ _ 有	無
期間		域づくりを推進するため、地域づくり協議会に対し、1年 度当たり100万円を上限に、地域づくり協議会活動支 援交付金を交付するとともに、次の取組を行う。 ①地域づくり協議会活動への支援②自治会・町内会等 の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成 ④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供		17,493千円 臨時職員 0.50 人 H28正規職員 人件費 従事割合 非常勤 特別職	① 4,032 ② 4 ③	H28年度目標 4 H29年度目標	H28実績 4	目標達成済		評価者	新しい事業への検討や取り組みがなかなかかけい。地域課題の解決を図るため、まちづくり協議会へのさらなる支援が必要である。		
平成23年	年度~	⑥地域防災⑦地域住民の要望等の処理·連絡調整 事業の種別		22,295 千円 臨時職員 0.50 人 H27予算現額 H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		小手指まちづくりセンター長 佐藤 尊之			
優分		■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加根拠法令 所沢市まちづくりセンター条例、所沢市まちづくりセンター条例を行規則、所沢市地域づくり協議会活動支援交付金交付要網	-	H28予管 刊類 H28決算額(見込み)	7 ①地域住民の参加人数 ②地域づくり協議会活動交付金 交付対象事業数	地域づくり協議会活動業数	支援交付金交付対象事	住民参加と協働による地域課題の解決並びに 安全・安心な地域づくりを進めるための事業を 実施する。		交付金による実施事業は住民参 加により、活発に行うことができ	一部各部会で予算策定・管理等、自主的に運営するようになった。		
山口 まち づく 地域づくりま りセ ン ター	支援事業	事業の目的及び具体的な内容 人と人との絆を大切にし、互いに支え合い助け合う地域づくりを推進するため、地域づくり協議会に対し、1年度あたり100万円を上限に地域づくり協議会活動支援	一般	H27正規職員 人件費 2.87 人 特別職 4.854千円 臨時職員 1.55 人	(3) 実績 (1)7444人	H27年度目標 3 H28年度目標	H27実績 3 H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析	А	た。今後はランニングコストなども 考慮に入れ交付金の増額なども初野に入れていく必要がある。	事業達成に向けての現在の課題及 び今後の課題解決に向けた取り組み	有	無
期間 H23		交付金を交付するとともに、次の取組みを行う。 ①山口まちづくり協議会活動への支援②自治会・町内会等の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成 ④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供 ⑥地域防災⑦地域住民の要望等の処理・連絡調整		H28正規職員	②3件 ③	3 H29年度目標 6	3	目標達成	1 4	評価者 山口まちづくりセンター長 仲正之	■ 専従員を配置し、自主的な運営をさらに 進める。 ■ 2		
実施計画ラ		事業の種別		H27予算現額 H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	T		H28年度に改善した点		
吾妻まち	_	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 根拠法令 所沢市まちづくりセンター条例、 所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域 づくり協議会活動支援交付金交付要綱		H28予算現額 H28決算額(見込み) 11 15	15 (日本内水学末数 ③地域づくり協議会の設立に向けての会議開催数	文法事系の些へ参加人数		地域コミュニティ、公共団体等への支援及び地域づくり協議会設立を目標とする。		地域における諸課題解決に向け、 各団体間の連携強化を進める一 方、地域住民の関心の高い地域情 報を提供した。地域づくり協議会設	吾妻町内会連絡協議会を中心とした関係 諸団体と連携し、都市計画道路飯能所沢 線第3工区や風水害対応など地域の諸問題の解決に向けた検討を実施した。地域 住民の関心の高い地域情報を提供し、地 域住足と情報を共有化した	1	
づく りセ ン ター	支援事業	事業の目的及び具体的な内容 人と人との絆を大切にし、互いに支え合い助け合う地域づくりを推進するため、地域づくり協議会の設立に向けた支援を行うとともに、次の取組を行う。			実績 ① 46回	H27年度目標 13,000 H28年度目標	H27実績 12,703 H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析 地域コミュニティ、公共団体の支援事業に対して	В	立に向け、吾妻町内会連絡協議会	域住民と情報を共有化した。 事業達成に向けての現在の課題及 び今後の課題解決に向けた取り組み	— 有	無
期間 H23年		①地域づくり協議会の設立及び活動への支援②自治会・町内会等の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供⑥地域防災⑦地域住民の要望等の処理・連絡調整		H28正規職員 人件費 H28その他職員 従事割合 2.20 人 特別職 0.00 人 18,865 千円 臨時職員 0.70 人	_(3) 3 <u>□</u>	13,000 H29年度目標 13,500	13,410	は目標を達成している。なお、地域づくり協議会 設立に向け、吾妻町内会連絡協議会において 引き続き協議を進めていく。		評価者 センター長 比留間嘉浩	地域の公共団体の事業運営を支援するとともに地域ネットワークの構築に向けた働きかけを進める。地域づくり協議会設立に向けた取り組みを更に進める。]	
実施計画ラ		事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		H27予算現額 H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			H28年度に改善した点		
柳瀬まち		根拠法令 所沢市まちづくりセンター条例、 所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域づくり協議会活動支援交付金交付要綱 事業の目的及び具体的な内容	<u>-</u>	 H27正規職員 H27その他職員	で記録 ライダ 励融 芸 石 助 文 接 文 付 金 交 付 対 象 事 業 数 1,043 (3)	地域の大り協議会活動文法父付金父刊対象事業数		協議会に係る事業数を基準として、住民参加・ 人と人との絆・支え合う地域づくりへの達成度を 推し量るもの。 H28目標値が未達成の理由・分析		H28年7月に協議会が発足し、これまで個々に地域課題に取り組んできた各団体が部会会議等を通し協	/=°		
づく りセ ン ター	支援事業	人と人との絆を大切にし、互いに支え合い助け合う地域づくりを推進するため、地域づくり協議会に対し、1年度当たり100万円を上限に、地域づくり協議会活動支援交付金を交付するとともに、次の取組を行う。 ①地域づくり協議会活動への支援②自治会・町内会等		0千円 臨時職員 0.00 人 H28正規職員 H28その他職員 人件費 従事割合	実績 ①235人 ②4事業	H28年度目標 4	H28実績 4	目標達成済	A	力して活動するようになった。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 協議会活動を促進するため窓口グループ、コミュニティ推進・公民館グループがよ		無
期間 H28年		の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成 ④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供 ⑥地域防災 ⑦地域住民の要望等の処理・連絡調整		7.68 人 非常勤 0.00 人 特別職 0.70 人 6.831 千円 臨時職員 0.70 人		H29年度目標 5				評価者 柳瀬まちづくりセンター長 鈴木 明彦	り相互連携をはかり、協議会に対して総 合的な支援を行っていく。		

所属	***	**************************************		経費			成果		評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど				
名和	事務事業名称	事業概要(全体)	会計	投入コスト(千円)	活動実績 (H28)		成果	指標	総合評価	評価 理由	現状の課題	有益 な もの	な
三 与 ま	実施計画ランク 優先	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 根拠法令 所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域 づくり協議会活動支援交付金交付要綱		H27予算現額 H27決算額 1,021 805 H28予算現額 H28決算額(見込み) 1,021 896	項目名 ①地域住民の参加人数 ②地域づくり協議会活動支援交付金交付対象事業数	指標名 地域づくり協議会活動 業数	支援交付金交付対象事	目標設定の考え方・根拠 交付金の交付等を通して、その自主的な活動を 支援することにより、住民の参加と協働による地 域課題の解決に向けた事業を指標とする。 目標値としては、事業の統合も行ったので、今 年度を目標としたい。		三ケ島まちづくり推進会議が発足 後3年が経過し、徐々に地域に定 着してきた。 今後もまちづくり活動	H28年度に改善した点 地域ネットワークに対する市からの交付 金を活用して、地域課題解決に向けた事業が実施できた。		
あちくり ソター	地域づくり支援事業期間	事業の目的及び具体的な内容 人と人との絆を大切にし、互いに支え合い助け合う地域づくりを推進するため、地域づくり協議会に対し、1年度当たり100万円を上限に、地域づくり協議会活動支援交付金を交付するとともに、次の取組を行う。 ①地域づくり協議会活動への支援②自治会・町内会等の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成 ④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供	般	H27正規職員 人件費 1.82 人 特別職 15,761千円 臨時職員 H28正規職員 人件費 1.60 人 特別職	実績 ①9.222人 ②6事業	H27年度目標 7 H28年度目標 6 H29年度目標	H27実績 7 H28実績 6	H28目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	A	の人材、団体の育成・支援に努める。 評価者	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み は当会に加入しない若い世代が増えているため、広報紙を通じて、魅力のある自治会活動をPRしていく。	_ 有	無
\vdash	H23年度~ 実施計画ランク	⑥地域防災⑦地域住民の要望等の処理・連絡調整事業の種別		13,720 千円 臨時職員 H27予算現額 H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		三ケ島まちづくりセンター長 森澤 宣行	H28年度に改善した点		
新列	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加根拠法令 所沢市まちづくりセンター条例、所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域づくり協議会活動支援交付金交付要綱			①地域住民の参加人数	地域づくり協議会活動業数	支援交付金交付対象事	地域づくり協議会への支援により、地域づくり協議会の事業の充実がどれだけ進んだかを指標とし、年を重ねるごとに一つずつ事業数が増加することを目標と設定する。		世代交代や、主体的に地域活動に	ター・新所沢公民館たより」に地域情報紙 面を設け、地域住民への情報発信を行う ことにより、その活動を側面支援した。		
沢ちりり	地域づくり支援事業	事業の目的及び具体的な内容 人と人との絆を大切にし、互いに支え合い助け合う地域づくりを推進するため、地域づくり協議会に対し、1年度当たり100万円を上限に交付する地域づくり協議会活動支援交付金等を活用するとともに、次の取組を行う。	— 般 — —	H27正規職員		H27年度目標 3 H28年度目標 4	H27実績 3 H28実績 6	H28目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	В	15 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	めの相談・助言を行い、事業増を実現した。 ・ 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み ・ 引き続き、地域団体の自主性を尊重し、 その活動の側面支援を行っていく。 ・ 行政から地域に対して課す負担が、	_ 有	無
	期間 H23年度~	①地域づくり協議会活動への支援②自治会・町内会等の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供⑥地域防災⑦地域住民の要望等の処理・連絡調整		人件費 従事割合 1.85 人 非常勤 特別職 0.00 人 15,864 千円 臨時職員 0.00 人	②6事業	H29年度目標 5				評価者 新所沢まちづくりセンター長 澤田孝男	個々ではさほどではなくとも、積み上がると多大になるため、地域団体の自主的な活動を行う活力を削ぐとともに、次世代の担い手確保の阻害要因となっている。		
	実施計画ランク 優先	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 根拠法令 ・ 所沢市まちづくりセンター条例、		H27予算現額 H27決算額 1,021 991 H28予算現額 H28決算額(見込み)	項目名 ①地域住民の参加人数		支援交付金交付対象事	目標設定の考え方・根拠 新所沢東地区の住民が自分たちの「まち」を常に見つめ直し、かつ、幅広い年代の人たちが地域活動の中で交流を深め、助け合い、安全・安			H28年度に改善した点 27年6月にしんとこイーストネット(新所沢東まちづくり協議会)を設立した。地域で活動している23団体で構成されていて、はじそれぞれの団体が地域の課題解決に向けた取り組みにあたり、ホームページ及びSNSを活用し地域情報の共有化を図った。		
新別沢東	地域づくり支援事業	所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域 づくり協議会活動支援交付金交付要綱 事業の目的及び具体的な内容	t 	1,053 1,051 H27正規職員 H27その他職員	②地域づくり協議会活動支援交付金交付対象事業数 -	来叙 H27年度目標	H27実績	心な「まち」づくりを目指しているため、活動数を 指標とする。 H28目標値が未達成の理由・分析	A	め、新所沢東地区の様々な情報を		有	無
りセンター		他域づくり支援事業 人と人との絆を大切に、互いに支え合い助け合う地域 づくりを推進するため、地域づくり協議会に対し、1年度 当たり100万円を上限に、地域づくり協議会活動支援 交付金を交付するとともに、次の取組を行う。		1.62 人 非常勤	①6,696人	3 H28年度目標 11	3 H28実績 11	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み ジンボルマークの普及・登録をすることにより、シンボルマークをPRし、協議会の存		
	期間 H23年度~	①地域づくり協議会活動への支援②自治会・町内会等の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供⑥地域防災⑦地域住民の要望等の処理・連絡調整		2.05 人 特別職 0.00 人 17,579千円 臨時職員 0.00 人	4	H29年度目標 11				評価者 新所沢東まちづくりセンター長酒井 忠夫	在を広めることで、活動への参加を促して いく。		
	実施計画ランク優先	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		H27予算現額 H27決算額 36 36	,	指標名		目標設定の考え方・根拠		吃欠 在	H28年度に改善した点		
所派まち	i&75	根拠法令 所沢市まちづくりセンター条例、 所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域 づくり協議会活動支援交付金交付要綱		H28予算現額 H28決算額(見込み) 718 628 H27正規職員 H27ぞの他職員	②地域住民の参加人数 ②地域づくり協議会活動支援交付金交付対象事業数			地域づくりを推進するために、地域組織の活性 化を図ることを目的として、公共的団体の実施 する事業への地域住民の参加人数を指標とす る。		業へ多くの地域住民の参加を得ら れている。	5事 公共施設間の連携強化に向け、所沢地 等ら 区に所在する公共施設間連絡調整会議 の第一回会議を開催し、各施設が抱える ク化 諸課題などを話し合うことができた。		
らづくりセンター	地域づくり支援事業	事業の目的及び具体的な内容 人と人との絆を大切にし、互いに支え合い助け合う地域づくりを推進するため、地域づくり協議会の設立に向けた支援を行うとともに、次の取組を行う。	般	人件費 従事割合 1.30 人 特別職 11,258千円 臨時職員	実績 ①21,014人	H27年度目標 22,000 H28年度目標	H27実績 18,811 H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析	А	公共施設間の連絡調整会議を開始したところであるが、地域づくり	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 地域団体のネットワーク化の方向性として		無
	期間 H23年度~	①地域づくり協議会の設立及び活動への支援②自治会・町内会等の地域コミュニティの支援③まちづくり活動の人材育成④地域の公共的団体の育成・支援⑤地域情報の提供⑥地域防災⑦地域住民の要望等の処理・連絡調整		H28正規職員 人件費 1.85 人 特別職 15,864 千円 臨時職員	②0事業(協議会未設立のため) - ③	20,000 H29年度目標 20,000	21,014	目標達成済み		評価者 所沢まちづくりセンター長 内堀 耕介	地域づくり協議会が設立できることが望ま しいが、現在のところ設立には至っていない。各種関係団体と地域活性化に向けて 情報共有する中で協議・調整に努めてい く。		

所属	****	**************************************		経費			成果			評価及び次年度以降に	向けた課題・取り組みなど	環影	境響		
所属 名称	事務事業名称	事業概要(全体)	会計	投入コスト(千円)	活動実績 (H28)		成果	指標	総合評価	評価 理由	現状の課題	な	有害 な もの		
所诉	実施計画ランク			H27予算現額 H27決算額 0 (H28予算現額 H28決算額(見込み) 1,569 1,178	② ① ① 看板修繕 ② 待合いソファー購入	指標名 まちづくりセンターの充 設修繕や備品の整備	実を図るために必要な施	目標設定の考え方・根拠 まちづくりセンターに必要な施設修繕や備品の 整備を図り、地域コミュニティの支援拠点として、 まちづくりセンターの機能の充実を指標とする。		目標指標の目標値を達成してお り、支援拠点として機能の充実が 図られていると考えている。今後	H28年度に改善した点 まちづくりセンターの機能の充実を図るため、看板の修繕や待合いソファーの購入 を行った。				
まづりンター	所沢まちづくりセン ター整備事業	事業の目的及び具体的な内容 -	7月別職 0千円 臨時職員 H28正規職員 H28その他職員	実績 ①1件	H27年度目標 H28年度目標	H27実績 H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析 目標達成済		も、地域コミュニティの支援拠点として所沢まちづくりセンターの体制を整備していく。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 地域コミュニティを支援する拠点として、住 民のニーズが増加している。今後もニー		無			
	期間 平成 28年度 ~ 実施計画ランク	一板の修繕や必要な備品の整備を行っていく。 事業の種別		人件費 従事割合 非常勤 特別職 1,286 千円 臨時職員 H27予算現額 H27決算額	②1件 ③ 項目名	H29年度目標 指標名	,	日標設定の考え方・根拠		評価者 所沢まちづくりセンター長 内堀 耕介	ズに答えられるようまちづくりセンターとしての機能の充実を地域住民とともに進めていく。	とし			
並木まち	優先			■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 根拠法令 所沢市まちづくりセンター条例、 所沢市まちづくりセンター条例施行規則、所沢市地域		21 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	付金交付の対象事業	業数(平成28年度から	実施)	交付金額に制限があるため、対象となる事業を十分に見極め設定する。		並木まちづくり協議会発足後の事 業開始初年度であったが、目標値	並木まちづくり協議会発足により、地域活動の支援が推進できることとなった。		
りセンター	地域づくり支援事業	事業の目的及び具体的な内容 人と人との絆を大切にし、互いに支え合い助け合う地域づくりを推進するため、地域づくり協議会に対し、1年度当たり100万円を上限に、地域づくり協議会活動支援交付金を交付するとともに、次の取組を行う。 ①地域づくり協議会活動への支援②自治会・町内会等	般	人件費 従事割合 非常勤 特別職 1.50 人 特別職 0.00 人 12,990千円 臨時職員 0.00 人 H28正規職員 H28その他職員	実績 ①6,142人 ②3事業	H27年度目標 H28年度目標 3	H27実績 H28実績 3	H28目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	A	を達成した。	事業達成に向けての現在の課題及 び今後の課題解決に向けた取り組み 地域の住民とともに課題を共有し、解決 策を見出すことで住みやすい地域づくりに	有 有	無		
	期間 H23年度~ 実施計画ランク	の地域コスケーの最終式のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で		人件費 従事割合 非常勤 特別職 1.35 人 特別職 11,576 千円 臨時職員 0.00 人 H27予算現額 H27決算額	3	H29年度目標 4 指標名		目標設定の考え方・根拠		評価者 並木まちづくりセンター長 阿部美和子	来げていく。今後はより自主的な活動ができるよう組織を整えていきたい。 H28年度に改善した点	5			
地垣	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 根拠法令 所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例	リ」の を の作品は	H28予算現額 H28決算額(見込み) 1,478 82-	① (1) 間知啓発チラン作成 ② 自治会・町内会応援団 (派遣のベ人数・派遣会場数) 4 ③ 加入世帯数	自治会·町内会応援団		自治会・町内会の必要性、重要性への認識を深めると共に自治会町内会の活動へボランティアとして参加体験する。		治会・町内会応援団などの取り組 みが浸透してきているものの、自	自治会・町内会の活動を応援するため、 「自治会・町内会応援団」を結成。応援団 員、応援団派遣会場をそれぞれ、大幅に 増やし、活動を行い、同時に全庁的に活動状況の報告を行った。				
地づくり推進調	自治会等応援事業	事業の目的及び具体的な内容 「所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例」の施行に伴い、市ではさらに自治会・町内会への加入や参加の促進と活動の支援を実施するもの。 ①自治会等への加入などを呼びかけるポスターの作成、掲示及び配布(周知啓発)②転入者に対し、自治		般	H27正規職員	実績	H27年度目標 25 H28年度目標 30	H27実績 26 H28実績 35	H28目標値が未達成の理由・分析	S	活動が必要である。しかしながら、 自治会・町内会活動の重要性を認 識する点においては、双方に一定 の効果が感じられた。	事業達成に向けての現在の課題及 び今後の課題解決に向けた取り組み 今後も、特定の職員に過度の負担が掛か らないように配慮しつつ、地域づくりの重 要性について、幅広く浸透していくように	無 無	無	
	期間 H27年度~ 実施計画ランク	会等への加入を働きかける(転入者加入促進)③市職員による自治会等応援活動。夏祭りなどの自治会行事への応援ボランティアスタッフの派遣や啓発品の配布など(自治会・町内会応援団) 事業の種別				H29年度目標 35 指標名		目標設定の考え方・根拠		評価者 地域づくり推進課長 青木一圭	職員への啓発を意識して活動を継続する。将来的には、地域のサポーター的存在として応援団が発展する可能性があること示唆しているものと考えている。 H28年度に改善した点				
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 根拠法令 所沢市コミュニティ活動推進事業実施要綱・所沢市コミュニティ活動推進事業補助金交付要綱外		H28予算現額 H28決算額(見込み) 17,000 16,000	①集会施設建設事業 ②集会施設修繕·增改築事業 ②集会施設緊急修繕事業	補助対象事業数		補助金の交付対象となる団体数		が、潤沢とは言えない自治会・町 内会の予算規模から、集会施設の	集会施設建設事業の補助金を1,000万円に引き上げたことから、自治会・町内会の負担軽減を図った。				
地域の対理	コミュニティ活動推進事業	事業の目的及び具体的な内容 地域住民の心のふれあいや交流の場、活動の拠点となるコミュニティ施設を建設や修繕など整備すること	般	H27正規職員	実績 * ①1件	H27年度目標 5 H28年度目標	H27実績 5 H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析 集会施設緊急修繕事業の申請が無かったた	А	が記されていまた、安全も多い 状況であるが、概ね計画通り実施 できた。	集会施設の建設・修繕の補助に当たっては、予算の制約の中、相談を受けた順に実施しているが、現状、相談から実施まで数年かかる点が課題である。一方で、事業実施年度に準備の整わない自治会があった場合は、準備が整っている自治会		無		
	期間 H3年度~	で、地域の一体感の醸成や共通課題の解決といった、 一各地域で展開されている自主的なコミュニティ活動を推 進するものである。		人件費 従事割合	②2件(修繕) ③0件	5 H29年度目標 4	3	め。		評価者 地域づくり推進課長 青木一圭	に補助を行うように柔軟に運用しているものである。今後は、他自治体の事例の収集などを通して、効果的な助成方法や空き家などの地域資源の活用などを研究していくものである。				

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)		経費			成果		評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど 景				
名称	争榜争某名称	争耒伽娄(主体)	会計	投入コスト(千円)	活動実績 (H28)	成果指標		2指標	総合評価	評価 理由	現状の課題	な	有害 な もの
	実施計画ランク	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		H27予算現額 H27決算額 5,000	項目名 .000 ①申請件数	指標名		目標設定の考え方・根拠 県を通じて年度初めにその年度の採択件数が 決定されるが、その採択分について、円滑に申			H28年度に改善した点		
地域でも推課	コミュニティ助成事業 期間 ~	根拠法令 平成28年度コミュニティ助成事業実施要綱 事業の目的及び具体的な内容 一般財団法人自治総合センターが社会貢献広報事業として実施する、宝くじ受託事業の収益を財源とした助成制度を活用し、地域コミュニティ活動を実施する団体の備品購入に対し助成を行うことにより、地域コミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与しようとするものである。	般	H27正規職員 人件費 H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職 0.27 人 特別職 0.6 2,338千円 臨時職員 0.6 H28正規職員 人件費 H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職 0.6 0.52 人 特別職 0.6	3 0 人 実績 0 人 ②	福助金交付件数 H27年度目標 2 H28年度目標 1 H29年度目標	H27実績 2 H28実績 1	請手続きを進め、確実に助成を行う必要があるため。目標については、その年度の採択件数から算出している。 H28目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	S	円滑に手続きが進み、助成が完了 したため。	なし 事業達成に向けての現在の課題及 び今後の課題解決に向けた取り組み 今後も事務が円滑に進むよう、関係各所 と連携して運用していく。	無	無
	実施計画ランク	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		H27予算現額 H27決算額	項目名 ①自治会·町内会への便利長 配布冊数	指標名		目標設定の考え方・根拠 自治会・町内会活動に対して必要な支援や報償		地域づくり推進課長 青木一圭	H28年度に改善した点 広報紙「広報ところざわ」への記事掲載と		
		根拠法令 所沢市自治協力報償金交付要綱		H28予算規額 H28決算額(見込み 20,031 15 H27正規職員 H27その他職員		自治会・町内会への加	入世帯数÷全世帯数)	金の交付を行うことより自治会・町内会の加入促進を図っていることから加入率を指標とする。		かない伎刮を担つ(いることから文	だくために単位自治会・町内会の取組みを紹介したが、平成28年度は若い世代がを加するきっかけとなてもらえるような単位自治会・町内会活動を紹介した。事業達成に向けての現在の課題及所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例」の施行に伴い、安心して快適に暮らすことができる地域社会を実現を促進してきたが、加入率が減少傾向にある。今後、地域コミュニティの醸成を進めるために、自治会・町内会が中心となって様々な地域活動団体と連携を図れるよう、引き続き必要な支援を行う。		
地域ではり推進課	自治会·町内会支援 事業	事業の目的及び具体的な内容 市等からの情報を広く市民に周知し、地域での課題解決や安全で安心して住み続けられる地域づくりを推進するために、自治会・町内会活動に対して必要な支援や観信金の交付を行うものである。 ①地域からの相談や苦情を受けると、必要に応じて他課と調整のうえ、相談者との話し合いを行って課題解		人件費 従事割合 非常勘	③ 0 人 実績 1 人 ①1,000冊	H27年度目標 66% H28年度目標	H27実績 63.7% H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析 自治会町内会の加入世帯は少しずつで増えて	В	事業の改善・効率化を図りなが		有	無
	期間 S56年度~	議と制造の力え、相談者との話と古いを打りた課題解決を図る。②「自治会・町内会の便利帳」や「自治会・町内会加入促進マニュアル」を毎年作成し、関係業務や自治会・町内会への未加入者対策に役立てていただき、市の事業への理解促進などを図る。③各自治会・町内会等に対し、加入世帯数に応じた自治協力報償金を交付する。		人件費 従事割合 0.68 人特別職	②10,000枚 0 人 3	67% H29年度目標 68%	63.1%	いるが所沢市の総世帯も増えていることから、 結果的には加入率減少となっていない。		評価者 地域づくり推進課長 青木一圭			
	実施計画ランク優先	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		H27予算現額 H27決算額 12,600 1	2,600 11,480 (平成27年度までの指標を「補助金限度額交付割合(限度額交付の団体数/補助金交付団体			H28年度に改善した点 市有地借料を半額とする施策(財務部)と 並行させる形で要綱改正を行い、民間用	:	
地域 づく	地域集会施設維持	根拠法令 所沢市地域集会施設維持管理費補助要綱 事業の目的及び具体的な内容	般 -	14,300 12 H27正規職員 H27その他職員		り全ての団体へ補助できる制度となったため、 指標を変更したもの。より多くの団体へ補助する		活動の拠点施設であるため、引き 続き周知を図り、補助を行っていく	地を借用している団体に対する補助額をイ加算した。また、集会施設を所有していない団体が有料の会議室等を利用した場合の経費の一部に対しても補助できるような 制度設計とし、全ての団体に対して補助	i			
り推進課	管理費補助事業	各地域で展開されているコミュニティ活動を推進することを目的とし、自治会・町内会等が所有(借用)している 集会施設の維持管理費の一部を補助するものである。 また、平成28年度から集会施設を所有していない団体		4,763千円 臨時職員 0.0 H28正規職員 H28その他職員	0 人 実績 5 人 ①179件(総団体数:277団体) ②165件	- H28年度目標 90%	- H28実績 65%	平成28年度から新制度となり、全ての団体へ補助できることとなったが、補助団体数は65%にと どまった。原因としては、周知不足が考えられ	В	<.	できるようなった。 事業達成に向けての現在の課題及 び今後の課題解決に向けた取り組み 補助団体の増加に向け、積極的な周知を	無	無
	期間 H5年度~	が利用する、有料の会議室等の利用料の一部に対する補助も開始し、全ての団体へ補助できる制度とした。		0.40 人 非常勤 0.0	- · · · ·	H29年度目標 90%		る。		評価者 地域づくり推進課長 青木一圭	- 行う。また、自治会運営の実状に合った 制度とするため研究をしていく。 -		
	実施計画ランク	事業の種別		H27予算現額 H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		所沢市自治連合会は、各自治会・	H28年度に改善した点		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加根拠法令 所沢市自治連合会補助金交付要綱		H28予算現額 H28決算額(見込み 1026	.026 ①コミュニティ活動の推進 ②講演会の開催 .026 ③	自治連合会加入率(4月	1日現在の自治会調べ)	各自治会・町内会等を全市的に支援・調整・指導するという行政ではなし得ない役割を担っているため、市内の全自治会・町内会の加入を目標とする。		町内会等を全市的に支援・調整・ 指導するという行政ではなし得な い役割を担っているとともに、新た な地域コミュニティの構築、防災、 防犯、交通安全、福祉、環境美化	防犯・防災のまちづくり活動として参加する市民フェスティバルで活用する展示パネルを直近の活動状況をお知らせするため、28年度は各地区新しいパネルを作成し、展示を行った。		
地域くり推進課	所沢市自治連合会 補助事業	事業の目的及び具体的な内容 コミュニティつくりや安全で安心して暮らせるまちづくりの推進、行政等との調整や連携・協力について、自治連合会が自立した活動ができるよう支援する。また、各地区の自治連合会等への情報提供や、全市的な調整の表現っている自治連合会の温度の支援を行い、単位	ニティつくりや安全で安心して暮らせるまちづくり 進、行政等との調整や連携・協力について、自治 会が自立した活動ができるよう支援する。また、各 の自治連合会等への情報提供や、全市的な調整		282 H28年度目標	H27実績 252 H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析 自治会・町内会内での事情により自治連合会へ		など総合的な活動を行っている。 行政及び関係団体との連携や相 互補完機能を果たす任意団体とし て、今後も住民自治・地域自治の 活動や運営の中心的な役割を担っ ていく。	事業達成に向けての現在の課題及 び今後の課題解決に向けた取り組み	一有	無	
	期間	役を担っている自治連合会の運営の支援を行い、単位 自治会・町内会等への加入促進事業を実施するもの である。役員会の開催や分野を越えた活動、未加入者 対策事業などに対する支援、地域活動に功績があった 団体及び功労者の表彰、会報の発行等を実施してい る。		H28正規職員 H28その他職員 (大学事制合	②608名参加 0 人 1 人	281 H29年度目標 280	251	の加入を見送っている、必要性・メリットが伝わっていないなどの理由が考えられる。		評価者 地域づくり推進課長 青木 一圭	所沢市自治連合会に引き続き必要な支 援を行うとともに、地域の実態に合わせた 手法や積極的な呼びかけにより、加入促 進を進めていく。		

所属				~	費			成果		評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境 影響
所属 名称	事務事業名称	事業概要(全体)		投入コスト(千円)		活動実績 (H28)		成绩	成果指標		評価 理由	現状の課題	有益 有害 な な もの もの
	実施計画ランク	事業の種別		H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			H28年度に改善した点	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		36,390	34,893	3 ①行政回覧件数					市民への行政情報の提供の方法		
		根拠法令 所沢市行政協力委員設置規程、所沢市行政協力委員 推薦及び報償金支給要綱		H28予算現額 H28決算額(見込み) (回覧番号を付与した件数) (行政回覧単帯数/総世帯数) (行政回覧を広く市民に提供することが目的であるため。		•	として行政協力委員による行政回 覧は必要な事業であるが、迅速 性・効率性などの課題もある。ま た、行政回覧以外回覧件数や配布	誤りの防止や、事務効率の観点から、行 政協力委員への報償金の支払い事務を 内部でシステム化した。					
地域 づく	行政協力委員支援	事業の目的及び具体的な内容		H27正規職員 人件費	H27その他職員 従事割会	(3)	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析		文書の量は増加傾向にあることから自治会の負担となっている。この		
	事業	市や各公共機関からの回覧文書(行政回覧)を市民に	般	0.37 入	従事割合 非常勤 特別職		100%	72%		В	ことから、行政回覧も含め回覧の 発出が多い所管と回覧の縮減に 向けて協議検討を進めていく。	事業達成に向けての現在の課題及 び今後の課題解決に向けた取り組み	無無無
		円滑に提供することを目的とし、行政協力委員を委嘱 している。 行政協力委員は各自治会・町内会からの推薦によって		3,204千円 H28正規職員 人件費	照時職員 0.10 人 H28その他職員 従事割合 非常勤 0.00 人	①370件 ②2,171人	H28年度目標 100%	H28実績 71%	11版回見学は日泊云の加入学と概ね比例する ものであり、自治会加入世帯数は増加傾向にあ るものの、分母となる住民の世帯数の増加率か オ上回っているため、実績値が低下している状況	あ ド	同けて励戦失的を進めている。	回覧率の増加に向け、自治会加入率の 増加を図れるような取組として、自治会へ	
	期間	委嘱することとしており、市は委嘱状を交付し、年度末 に報償金の支払いを行う。		0.48 人 非常勤 0.00 人 3		(3)	H29年度目標		プエ回っているため、美積値が低下している状況である。	·	評価者	→ の案内チラシ内容や配付方法の検討を行う。	
	S56年度~	1-mg = 0/2/140 E11/0		4,116 千円	臨時職員 0.10 人		100%				地域づくり推進課長 青木 一圭		
	実施計画ランク	事業の種別		H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠			H28年度に改善した点	
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		1,560	1,47	5 ①交付申請件数							
		根拠法令 所沢市紡ごう絆地域応援事業補助金交付要綱		H28予算現額	H28決算額(見込み)	②補助金交付件数	補助金交付件数	補助金交付件数 17件程度の申請により予算上限まで交付を行 ことができる。		٥	成果指標の目標値を毎年達成して	- 各自治会・町内会へ事業募集の案内を刷	
ᅪᅛᆉᆖ	,	所沢巾紡こう絆地域応援事業補助金交付要綱 所沢市紡ごう絆地域応援事業選考委員会要綱		1,560	,	3 3					おり、また、自治会・町内会の多様 な活動の促進や、加入促進への変		
地均づく	が 紡ごう絆 地域応援	事業の目的及び具体的な内容	—	H27正規職員 人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 0.00 A		H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析	Δ	果が高いことから一定の成果が挙げられていると考える。		│
り推 進課	事業	地域の身近な課題の解決を図ろうとする住民の取組みを応援するため、自治会等が意欲的に行う事業の	般	0.58 人	非常勤 0.00 人 特別職	実績	17	17		^`	1754000000000000000000000000000000000000	事業達成に向けての現在の課題及 び今後の課題解決に向けた取り組み	13 ////
		立ち上げや発展に係る経費の一部を補助し、支援するものである。		5,023千円		①21件	H28年度目標	H28実績					
		①事業の募集(広報ところざわやまちづくりセンターに		H28正規職員 人件費	H28その他職員 従事割合 非常勤 000 J	②17件	17	17	目標達成済			事業開始4年を迎え新規事業提案をどう →伸ばすかが課題と捉えている。今後も事	
	期間	募集要領及びチラシの設置)②申請書類の受付③(必要に応じて)採択事業の選定④自治会・町内会にて応		0.60 1	非常勤 0.00 人 特別職	(3)	H29年度目標				評価者	業の周知を進めていく。	
	平成25年~	募事業の実施⑤事業報告書及び補助金請求書の受 理⑥補助金確定通知⑦補助金の交付		5,831 千円	臨時職員 0.02 人	 	17				地域づくり推進課長 青木 一圭		